

千曲市自転車活用推進計画 計画期間内（R2～R8）における施策の実施評価（自己評価）結果

資料 3 - 4

【E(達成状況)の評価基準】 4:できた(当初想定の80%以上は実施)、3:まあできた(当初想定50～80%程度は実施)、2:あまりできなかった(当初想定20%～50%は実施)、1:できなかった(当初想定20%未満の実施)

現計画の内容（R6.3時点）			フォローアップ		
A：分野・基本方針	B：施策項目	C：具体施策	D：実施の有無	E：達成状況	F：実施内容 取組名とその要点、未実施の場合は理由を記載ください
【基盤整備】 市民や来街者の安全で快適な自転車利用に向けた基盤整備の推進	1）安全で快適な自転車ネットワークの整備推進	【施策1】 計画的な自転車ネットワーク路線整備や情報発信の推進	○	3	自転車通行空間の整備基準・指針・方針を策定した。国の交付金を活用し、市道2-1号線他（堤防道路）及び市道治田町西線において矢羽根等の路面標示を設置し、自転車通行空間を整備した。
		【施策2】 長野電鉄 屋代線跡地の活用	○	4	国の交付金を活用し、市道屋代中学校北線（倉科踏切から北東方向）について測量設計・工事を実施し、自転車歩行者専用道として整備・供用開始した（総延長 約940m）。長野電鉄東屋代駅跡地の広場整備を実施し、両宮東西線の測量設計に着手した。
		【施策3】 路面等の修繕・段差解消	○	3	施策1に併せて路面や路面標示等の補修・修繕を実施した。
		【施策4】 事故発生箇所や危険箇所の調査及び対策の実施	○	4	毎年度、小学校の通学路危険箇所について関係者と合同点検を実施し、対策が必要な箇所について速度抑制や視認性向上等の対応を年度内に実施した。
	2）まちづくりと連携した総合的な安全対策の実施	【施策5】 交通規制の導入や自動車の速度抑制策の実施	○	1	ゾーン30の拡大について千曲警察署へ要望・進達を継続して行ったが、交通量や具体的な区域提案の不足等により新たな設定には至らなかった。
		【施策6】 無電柱化や他道路事業と併せた自転車通行空間の整備推進	○	3	市道一重山2号線（都市計画道路一重山線）について、地元説明会・測量設計を経て自転車通行空間の整備に向けた検討を行うとともに、（都）千曲線整備事業（磯部地区）においても、自転車通行帯を整備するよう設計を行った。
	3）駐輪ニーズに応じた駐輪環境の整備	【施策7】 鉄道駅やバス停等の交通結節点での駐輪場整備	○	4	後半年度において、屋代駅前・戸倉駅前駐輪場の電気設備修繕や戸倉駅前ロータリーの路面標示再塗装を実施した。
		【施策8】 多様なニーズに対応した駐輪場整備	○	2	期間を通じて具体的な取組はなく、最終年度において利用状況を鑑みた整備の方針を示すにとどまった。
		【施策9】 駐輪マナーの周知啓発	○	4	駅前駐輪場への管理人配置を継続実施し、利用者への声かけ・整理や放置自転車の警告・撤去を行った。
【健康・環境】 自転車の活用による健康的で環境にやさしいライフスタイルへの転換	1）自転車通勤の促進	【施策10】 企業における自転車通勤の推進	○	3	毎年度、県主体の「信州スマートムーブ通勤ウィーク」に賛同・広報するとともに、エコドライブ啓発活動と併せてスマートムーブの啓発を継続実施した。
		【施策11】 市役所における自転車通勤の推進	○	3	職員を対象に自転車通勤に関する調査を実施し利用促進を図るとともに、ヘルメット着用の努力義務化・自転車保険加入義務化等の法改正に関する周知啓発を行った。
	2）自転車による健康づくりの促進・環境負荷の低減	【施策12】 自転車による健康づくりの周知啓発	○	2	毎年度、健康診査の保健指導の機会を活用し、自転車利用の健康効果について資料を用いた啓発を継続実施した。
		【施策13】 自転車による環境負荷低減の推進	○	3	毎年度11月のエコドライブ推進月間に、エコドライブ・エコ通勤・スマートムーブについてホームページ等で広報するとともに、千曲市地球温暖化対策協議会と保育園児によるドライバーへの呼びかけ活動を継続実施した。
【観光振興】 千曲川サイクリングロードを核としたサイクルツーリズムの推進	1）受入環境の整備	【施策14】 レンタサイクル・シェアサイクルの推進	○	4	シェアサイクルの導入検討・調査研究を経て、R4年度から毎年度社会実験（運営・効果検証）を継続実施した。
		【施策15】 サイクリング拠点の認定・整備	○	4	「自転車の駅」をR3年度までに14施設認定し、その後は協力事業者への維持・継続依頼やメンテナンスキット・サイクリングマップの配布により12施設の運営を継続した。
		【施策16】 サイクリスト駐車場の整備	○	4	期間を通じて、公共施設の既存駐車場を対象とした整備について検討を継続した。
		【施策17】 サイクルレスキューの体制構築	○	4	「サイクルレスキュー」協力事業所（7事業所）に対し事業継続を依頼し、6事業所による体制を維持した。
		【施策18】 多様な自転車が楽しめるコースの整備	×	1	萬葉の里スポーツエリアへのサイクリングコース整備について、科野さらしなの里サイクリング推進委員会と連携し検討を進めたが、財源確保が課題となり実現には至らなかった。なお、令和7年度に策定した戸倉上山田地区かわまちづくり計画においては、千曲川の河川敷内にマウンテンバイクコースを整備することを盛り込んでいる。
	2）公共交通機関との連携強化	【施策19】 鉄道駅のサイクリング拠点化	○	4	シェアサイクル社会実験において、屋代駅・戸倉駅へのサイクルポート設置から開始し、千曲駅・姨捨駅へのポート設置も実施した。
		【施策20】 サイクルトレイン・サイクルバスの運行検討	×	1	しなの鉄道沿線観光協議会においてサイクルトレインのモニターツアーや実証実験を実施し、後半年度は北しなの線で実証が行われた。
	3）自転車関連イベントの開催	【施策21】 地域資源を活かした自転車関連イベントの開催	○	4	科野さらしなの里サイクリング推進委員会による「チクマ サイクリング クエスト（スタンプラリー）」を継続開催し、最終年度は日本遺産推進協議会によるシェアサイクルモニターツアーを実施した。
		【施策22】 市民を対象とした自転車関連イベントの開催	○	3	「千曲ラン＆サイクル」ホームページを開設・継続運営し、千曲川沿いのランニング・サイクリングコースやサポートショップの紹介、「ちくまサイクリング」へのリンク掲載等によりPRを継続した。
	4）PR の強化	【施策23】 サイクリングマップの活用	○	4	サイクリングマップを毎年度修正・更新のうえ増刷し、観光局等窓口への設置やサイクリング推進委員会等での配布を継続実施した（6年間の増刷総数：約7,700部）。
		【施策24】 ポータルサイトの整備・充実	○	4	「ちくまサイクリング」ホームページの保守管理をNPO法人エリアネットに委託し、科野さらしなの里サイクリング推進委員会と連携しながら情報発信・更新を継続実施した。
	5）サイクルツーリズムに関する地域連携の推進	【施策25】 先行事例の調査・活用	○	4	自転車を活用したまちづくりに係る先進地視察（土浦市・安曇野・富山県等）を継続実施し、長野・北信サイクルツーリズム推進会議への参画等を通じて先行事例の情報収集を行った。
		【施策26】 他地域とのネットワークづくりの推進	○	4	上田市と連携したシェアサイクル事業を5か年にわたり継続実施するとともに、長野・北信サイクルツーリズム推進会議やJapan Alps Cycling Road推進協議会へ参画し、広域的な連携を推進した。
【交通安全】 自転車事故ゼロを目指した自転車ルール・マナーの周知啓発	1）年齢に応じた交通安全教育の実施	【施策27】 若年層・高齢者への交通安全教育の充実	×	1	交通安全教育を市の出前講座メニューに追加しPRを行ったが、コロナ禍の影響等もあり、期間を通じて申込み実績はなかった。
		【施策28】 家庭での交通安全教育の促進	○	4	千曲交通安全協会との共催により、「家庭の安全運転管理者制度」を毎年度継続実施し、家庭における安全教育を推進した。
		【施策29】 交通安全意識の啓発	○	4	季別（春夏秋冬）の交通安全運動を毎年度継続実施した。
	2）自転車の点検・整備の促進	【施策30】 自転車の定期点検や整備に関する意識啓発	○	4	自転車の定期点検・整備の義務化に向けた条例改正は庁内調整の結果見送りとなったが、市ホームページを活用した周知・啓発を継続実施した。
	3）自転車損害賠償責任保険の加入やヘルメットの着用促進	【施策31】 自転車損害賠償責任保険の加入促進	○	4	自転車保険加入の義務化に向けた条例改正は庁内調整の結果見送りとなったが、市ホームページを活用した周知・啓発を継続実施した。
【施策32】 ヘルメット着用の広報・啓発や補助金の利用促進		○	4	ヘルメット着用義務化に向けた条例改正は見送りとなったが、自転車用ヘルメット購入費補助金交付要綱を整備し補助金交付を実施するとともに、市ホームページによる周知・啓発を行った。	
【全体】 自転車条例の改正		【施策33】 「千曲市自転車の安全利用及び自転車等の駐車対策に関する条例」の改正	×	—	市条例改正は庁内調整の結果見送りとなったが、長野県条例による自転車損害賠償保険加入の義務化及び道路交通法改正によるヘルメット着用の努力義務化により、本施策の目的を達成したと判断しR6年度以降の取組を終了した。